



発行 KOA 森林塾 (事務局) 0265-70-7065
編集 早川清志
題字 島崎洋路

「素晴らしきかな」

WOOD JOB!!

遠くに白い雪をを頂いた中央アルプスの山々を望む暖かい春の一日、2014年度の第1回森林塾が開催されました。少人数でしたが、汗ばむ陽気のなか、何とか200本のスギの植栽が終わりしました。そして翌日も好

天。この日はKOAパイナップクの裏山で伐木造材の実践でした。チェーンソーを初めて触った方もいました。受け口作りから、まずは1本の伐倒を試みました。山仕事の楽しさや素晴らしさを少しは味わっていただけ

賞作家、三浦しおん著の『神去なあなあ日常』という本が映画になりました。背中を押されて原作を読んでも、これが結構面白い。そして、現在の日本の森林や林業の実情をよく調べ、的確に表しているなあと感心

「林業は厳しい。林業の方に失礼がないように大きな敬意を持って製作した」とおっしゃっていたとのこと。プロデューサーや関係者の何人かは実際に「緑の雇用」に応募して現場を体験した上で撮影に臨んだそう

で、製作スタッフの本気度と生真面目さが伝わってくるようです。ロケに協力した津市美杉町の林家の方は、停滞している業界に「風」が吹き始めたように感じる、と感想を述べていたとのこと。さて、この本と映画が話題の少ない林業界の霧を吹き飛ばし、山を動かす、一陣の風となるでしょうか。できるだけ多くの、特に若い方に見てもらいたいです。そして映画のようです。そしてもっと

さて、森林塾も負けてはいられません。植林、伐木・造材に続いて、少し地味ではありますが樹木分類や測量、測樹などの調査法をみっちり勉強し、その後は間伐、集材などのハードな実践が待っています。3月までの1年間、われわれの『WOOD JOB』を十分に楽しみましよう。



マツ食い虫伐採跡地。200本のスギ植栽完了



伊那谷の春。中央アルプスの残雪を望みながら



追い口は伐倒方向に向かってまっすぐに伐り進む



常に方向確認を怠らないこと

通年コース第1・2回
4月25・26日(金・土)
植林・伐木造材
参加者/阿部さん、牛山さん、金井さん、小池さん、榎本さん、立木さん、日戸さん、松山さん
スタッフ/和泉、坂野、早川

専門コース第一回開催報告

『一歩後退、二歩前進!!』

フィールズ賞を受賞した
広中平祐博士の講演会を聞
いた事があります。親子で
どうぞという講演会だった
ので、子供さんの成長に関
してのお話をされていたら
思うのですが、成長の仕方
はノンリニアなんですよと
数学者らしい表現をされて
いたことを覚えていきます。

時間軸に沿って右肩上が
りの直線で子供は成長して
いくものではなく、停滞も
あるし、時には少し後戻り
をしたり、大きな失敗をや
らかす場合もあるかもしれ
ません。でも心配する事は
ありませんよ、それらは全
部、成長するために通るべ

き過程なんです、というお話
だったと思います。

ゴルフのスウィングとか、
スキーで滑らかに曲がるこ
ろ、技術的に上手になりたい
場合においても、何をやつて
も上手く行かないときがあり
ます。打ちっ放しやゲレンデ
に通う量に比例して技術が上
達するわけではなく、ある日
突然、ふとできなかつたこ
とができるようになったりす
るものです。

チェーンソーによる伐倒技
術も同じで、どうにも受け口
がきつちりできない、なんて
事が続くと、永遠にできない
んじゃないか、と思ったりも
します。でもこれも、なぜか

あるとき出来るようになる
のです。

2011年から毎年集中
コースまたは専門コースに
参加いただいている水津さ
ん、おいでになって、1本
切つてもらおうと前より下手
になってきている？全回でき
ていた事ができなくなってい
る？いえいえそうではなく
て、まだきつちりと自分のも
のにされていけないだけなの
です。やはり少しブランクが
あると、技術的には少し後退
するのでしょうが、2日間の
実践が終わり、お帰りの時点
では二歩も三歩も前進して
いるんです。

専門コース第1回開催

5月9・10日(金・土)

参加者/水津さん
スタッフ/早川



スーさん、まだ方向確認が少し甘い



重心はどう見ても白壁の乾杯亭方向

次回以降の予定

通年コース第3・4回

5月23・24日(金・土)

樹木分類・測量/製図

一日目は樹木分類、樹木
の検索方法を覚えましょう。
葉っぱの特徴などからその
樹木の名前を調べること
を探索といいますが、このサク
ラはウワミズザクラかヤマ
ザクラか、はたまたカスミ
ザクラか。名前がわかれば
親しみがわき、次に会えば
もうお友達です。

二日目は測量と製図。コ
ンパスやメートル縄を使っ
て方位角や高低角、距離を
測り平面図に落とししてみま
す。そしてついでに面積の
計算もして見ましょう。

8時20分、山小屋集合。筆記
用具(Hか2Hの鉛筆また
はシャーペン)電卓必携。山
の中を歩ける格好で。

第5・6回

6月6・7日(金・土)

測樹/施業診断、刈払い機
安全衛生教育

樹木の種類を調べ、本数、
太さ、高さを測り、込み具合
を算出します。そしてその
山林は間伐が必要かどうか
を判断します。

8時20分に6日は山小屋、
7日の安全衛生教育はKO
A(伐木造材をおこなったと
ころ)に集合。教科書代、電
卓、筆記用具持参のこと。

専門コース第2回開催

7月4・5日(金・土)

難易度を上げた現場での
伐倒を計画しています。

集中コース(夏)

7月31日~8月2日

(木・土)

KOA森林塾のエッセン
スである、森林調査、施業診
断、間伐を3日間でおこな
います。塾生募集中です。興味
がおありの方は是非ご参加
の方向でご検討よろしくお
願います。

知っ得話



そのチェーンソーによる振動障害の予防

伐木造材で初めてチェー
ンソーに触れた方もおいで
でしたが、そのうちマイ
チェーンソーが欲しくなる
かも。

自家用で使われる分には
それほど心配はないと思
いますが、業務で長時間使
うと、職業病としての振動障
害の危険が生じます。腕や肩に
振動による循環障害、神経障
害などが起こる可能性も否
定できません。厚生労働省が

2009年に出した通達を
参考に、いくつかの予防策を



述べてみます。

ポイント伐る木の径に
合ったチェーンソーで

トイレに入ったら個室か
ら「大は小を兼ねる」という
独り言が聞こえてきて、噴き
出した事があります。が、
チェーンソーに限っては、否
の場合が多い。直径20~30セ
ンチの木を伐る場合にバー
の長さが50センチのものは
不要です。35センチもあつた
ら十分なので標準仕様でそ
のくらいの長さのバーが付
いたチェーンソーを使いま
しょう。排気量が大きいもの
は振動が大きくなる傾向に
あります。

ただし、逆のようですが、
新作りのための玉切り用は
1ランク上の能力のものが
ベターです。連続した玉切り
はチェーンソーにとつては
結構過酷な作業です。もちろ
ん使う人にとつてもそうで
すが、フル回転で長時間(10
分以上)動かすのは避けるべ
きです。大き目のチェー

ソーで、稼働時間を短くし、こまめにエンジンを切りましよう。

ポイント 適宜目立てを行い、常に切れる状態で

目立ての悪い、切れないチェーンソーは息が切れるのみで良いことはひとつもありません。燃料を食いまくり、排気ガスを吸いまくり、チェーンオイルを撒きまくる。余分な力が入るので危険極まりない。長時間、過度の回転数になりがちで、エンジンや機械本体を傷める。どうしても押し付けてしまうの

型式名	排気量	振動加速度 (m/s ²)	3軸合成値 (m/s ²)
スチール MS200	35.2	12.3	5.1
スチール MS240	42.0	10.4	4.8
スチール MS261	50.2	18.2	3.5
ハスクバーナ 346XP	45.0	10.4	5.0
ハスクバーナ 357XP	56.5	10.0	5.7
ゼノア G3501EZ	35.3	9.5	4.7

で腕や体がとても疲れる。長時間振動に曝される事になります。うるさくて耳にも

$$\text{日振動暴露量 } A(8) = a \times \frac{T}{8} \text{ [m/s}^2\text{]}$$

$$\text{振動暴露限界時間 } T_L = \frac{200}{a^2} \text{ [時間]}$$

Tは時間、aは3軸合成値

きつと悪いだろうポイントご自分のチェーンソーの振動量を把握し、使用時間を管理する

メーカーは自社製品の振動加速度を公表しています。そのうち3軸合成値(正確には周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値)に注目して見てください。この数字がおおむね5以下でしたら2時間までならチェーンソーを稼働させていても特に問題はありません。3軸合成値が10を超える場合、右式に当てはめて2時間以内の暴露時間に抑えなくてはなりません。**ポイント 寒冷期の長時間使用に注意**



また、雨中の作業はできるだけ避ける、などの対策が必要です。**ポイント 防振保護具の使用**

お値段は高いのですが、厚手の防振手袋が市販されています。長時間使用する方は、耳栓やイヤーマフなどの騒音性難聴を防ぐ道具と合わせ、こういった障害防止の保護具を使用するべきです。**ポイント 刈払い機など、他の振動機器との併用を避ける**

KOA森林塾OB・OGの皆さんへ 島崎 洋路

鳩吹公園周辺の山々も青葉・若葉に彩られ、第21期の森林塾も始められました。

塾OB・OGの皆さん方には、いろいろ厳しい状況も垣間見られますが、お元気で活躍の事と拝察申し上げます。

さて、本日は森林塾通信第1号の紙面をお借りして、島崎山林研修所(山小屋)の維持管理について、大事なお知らせを申し上げます。

当山小屋は私の『山造り論』実践の拠点として平成6年新築・発足し、併行してKOA森林塾の研修拠点としても地の利に恵まれた事もあって全面的に活用いただき、数々の思い出を重ねながら築20年の年月を過ごして参りました。



この間私も齢を重ねてきましたが、600名にも及ぶ塾生の皆さん方との交流にも引き立てられて思いのほか心身の衰えが目立たず、似非(エセ)一人親方を任じてマイペースで山造りのお手伝いを楽しんでいます。しかし周囲から「来年は米寿だよね(数え年)」とささやかれると、跡継ぎのいない私にとっては もしもの時山小屋の処理をどうするのかを判断すべきと判断しました。

昨年来KOA森林塾事務局の皆さんをはじめ地主さんらとのご相談を通して、引き続き森林塾の拠点としていくことを前提として、山小屋の維持・管理一切の権限をKOA(株)さんに引き継いでいただくことし、4月に総ての手続きを終えました。したがって今後山小屋に関してのお問い合わせは下記の連絡先をご利用ください。

一連の手続きを終えてみますと、この20年間の様々な事象が思い出され感無量ですが、元気であればまたお会いできることを楽しみに過ごしたいと思えます。沢山のご厚誼、深くお礼申し上げます。

KOA森林塾連絡先 事務局 TEL 0265-70-7065 FAX 70-7994 早川さん携帯 090-4463-0062

振動障害の原因になります。朝、自宅近くで刈払い機を使った後、バイクで伐倒現場まで出勤、その後チェーンソーによる作業を続ける、なんていうパターンが昔の伐採作業所などであったようにも聞いています。このような相乗効果が、徐々に障害に繋がっていくと考えられています

診断など 作業開始や終了時に、あるいは長時間チェーンソーを使った後は腕、肩、腰等の運動をし、筋肉をほぐして血行を促進しておく事は振動障害の予防となります。また、喫煙は強い血管収縮作用があることが知られており、抹消血管の循環に悪影響を及ぼします。できるなら「いつ禁煙するの?」今でしょ

!!「この際、頑張つてチャレンジしてみたらいかげんしようか。また、チェーンソー等の作業者は振動障害の早期発見、治療を目的として年2回の特殊健康診断が義務付けられています。おこなわれていなければ、事業主にお問い合わせ、必ず受けるような環境を作ってもらうことが必要です。



リレー通信

想うこと・いろいろ

べっこ

好きで映画をよく見る。とは言っても映画館へ足を運ぶことはずいぶん減って、もっぱらDVDソフトとして借りてくる。
今年の正月休みは少し長めに取ることができたこと

もあり、色々と手あたり次第に借りて来ては見ていた。それらの中で、俳優でもあるクリント・イーストウッド監督の製作した、「父親たちの星条旗」と「硫黄島からの手紙」は強く印象に残った。祖父が第二次大戦に参加、南方で終戦を迎え、復員してきたということがある。また、曾祖父が日露戦争に参加、復員していることもあり、テレビドラマ化された司馬遼太郎原作の「坂の上の雲」も全編を見てみた。そんな中、大島渚監督の製作した、「忘れられた皇軍」というテレビ番組用のドキュメンタリーフィルム^①の再放送を、同じ休み中

のある日に偶然見ることができた。大島監督の作品も大好きで、今までも何本か見てきたが、テレビ向けにドキュメンタリー番組も制作していたことは知らなかった。
1963年に放送されたこのドキュメンタリーフィルムには、皇軍として第二次大戦の戦火の中、傷痍軍人となって復員してきた揚句、日本政府からも韓国政府からも事実上見捨てられた元日本軍材日韓国人の人々の姿がそのままに記録されている。

ほとんどもなかった、と言うか思い出すかぎりなかった。自分にとって唯一の、戦争を直に感じる体験だったと言えるし、戦争被害についてのみでなく、周囲を海で占められた日本が多民族国家であり、他の大国と同様に熟考すべき民族間問題が、良くも悪くも日本独特の形で少なからず存在するということを痛感させられるドキュメンタリーフィルムだと、今改めて思う。

とんどない。中学生の時に登れと言われて登った三峰山と、その後は登ろうと思っただった高尾山のみだ、確か。登山には縁がなかったが、素材としての木には幼い頃からなぜか興味があつて、樹種によつて、また仕上げ方によつて様々な表情を見せる木肌の美しさと暖かみのある手ざわり。そしてそれとは裏腹といえるほどの頑強さや耐久性を備えていたり、興味^②が尽きない。森を知り、山を学ぶことは素材としての木々のふるさとを訪ねさせてもらうことでもある。

満開で、これぞ伊那谷の春です。
中央アルプス宝剣岳の少し南側に島田娘と種まき爺が背中合わせ出現し、今お田植えのまつ盛り。2月に2回で1m近く積もった大雪に辟易して、雪なんかもう沢山と思つた事も、喉もと過ぎれば、もう少し雪で遊んでおくんだつたなあと、少し懐かしく思い出します。さて、今年も一年宜しく願ひします。



おわりに

雪を頂いた東に南アルプス、西に中央アルプスを望み、里にはツツジや菜の花が

東京の下町で生まれ育ち、60〜70年代にかけて小学生だった自分にとって、休日^③に親に連れられて上野公園周辺や広小路界隈を歩いたりするのは楽しみだったけれど、身体に戦傷による重度の障害を負った人々が、ハモニカやアコーディオンを奏しながら物乞いをする姿を、気味わるく思いながら見ていた当時小学生の自分を、瞬間、思い出した。国のために戦つて傷ついたということとはわかつていても、その背景にあり続けている事情については何も知らなかった。家でも学校でも、大戦で日本とその周辺国の国家そのものや国民たちが被つた深い傷について、またそれ以降の経過について語られることは

山のことは何もわからな^④い。森林についても何も知らない。自分の国の国土の3分の2に関して、ほぼ何も考え^⑤てこなかった。登山経験もほ

昨年12月の炭焼き講座2日目の朝、少し早めに起きて散歩に出かけてみた。山小屋裏手の斜面を下つていったあたりの、間伐等の手入れのされた木々の間をゆつくりと歩くことができた。途中、間伐材に腰かけて煙草を一本喫つて戻ってきたが、期待していた以上になんたかやはり気分がいい。普段は自覚^⑥めの一服で意識がはつきりする一方で、体調は煙草一本分悪くなる。受け取り方はこちら次第たるうけれど、突拍子もないことをしない限り、そして適当な手間をかけられれば、木々そして山はそれ未曽有、の皆にとつてうれ^⑦しい、有形無形の諸々を自分にもたらしてくれるのではな^⑧いかと、今からわくわくして

投稿大歓迎。ご意見、ご質問、ご要望、事務局まで。
TEL 0265-70-7065
FAX 0265-70-7994
E-mail: ki-hayakawa@koanet.co.jp
sh-sakano@koanet.co.jp
携帯:090-4463-0062(開催日)
URL http://www.koanet.co.jp

